

令和6年度 学校関係者評価実施用紙（まとめ用）

学校番号	18	学校名	静岡県立沼津東高等学校	記載者	市川 幸子
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	育成する力	達成方法 (取組手段)	成果目標	自己 評価	関係 者 評価	意見
主体性・多 様性・学 びに向 かう力・人 間性	自己肯定力	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育 ホームルーム活動 教科の授業 自治会活動 部活動 学校行事 交通指導 校外活動への参加 揺籃、理数探究 朝読書 進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身に概ね満足しており、物事を肯定的に考えることが多い生徒60%以上◎ 楽しく充実した学校生活を送っている生徒90%以上◇ 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 満足していない生徒、保護者に、その理由を問う設問も設けるなどして、不満足の原因を探って、解決方法を検討していただきたい。 肯定的に考えて充実した学校生活を送れているのは良いが、与えられた環境を単純に受け入れているだけの生徒もいるのではないか、検証できれば良い。
	利他・共生力		<ul style="list-style-type: none"> 所属する集団や社会に貢献できるよう意識して行動している生徒80%以上◎ いじめ件数、問題行動、交通事故・違反指導数の前年比減● 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故・違反0を目指していただきたい。 いじめ、問題行動、交通事故件数が前年比減という目標達成を切に望む。 P T Aとの連携による効果的な交通指導をお願いしたい。 人権教育と少子高齢化を防止する取組は、日本を愛し誇りに思い存続させたいという気持ちを育む教育の基本である。それを学ぶような仕組み作りを心掛けていただきたい。
	関心・知的 好奇心		<ul style="list-style-type: none"> 授業や日常生活の中で、興味・関心を抱いて情報を集めたり、「これに取り組んでみたい」と思ったりすることが多い生徒75%以上◎ 学習以外で活字に親しむことが多い生徒90%以上◎ 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「あてはまらない」「まったくあてはまらない」生徒が10.4%いるので、その原因を探って、解決方法を検討していただきたい。 進学するだけが目標でないことを保護者も含めて理解してもらうことが大切であると改めて感じた。
	挑戦・行動力		<ul style="list-style-type: none"> 指示されたこと以外で、自分を高めるために、継続的に取り組んでいることがある生徒75%以上◎ 難関国立大・医学科志望者数120人以上● 地区大会を突破した部活動10以上● 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「あてはまらない」「まったくあてはまらない」生徒が14.3%いるので、その原因を探って、解決方法を検討していただきたい。
	協働・巻き込む力		<ul style="list-style-type: none"> 協働場面で積極的に発言・活動して集団をまとめ、参加者全員を巻き込むよう工夫している生徒60%以上◎ 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「あてはまらない」「まったくあてはまらない」生徒が24.6%いるが、必ずしもまとめ役にならなくても、積極的に参加しようとする生徒もある程度評価してもよいのではないかな。 個人志向が強い傾向は「伝統」で済ませられないと同窓生としても感じる。
				<ul style="list-style-type: none"> 香陵祭、スタディツアー、高原教室の満足度85%以上◇ 友人と協働して目的を達成することができた生徒80%以上◇ 英会話、校外の学び、ボランティア活動に参加した生徒100人以上● 	A	A
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 教科の授業 揺籃、理数探究 一人一台端末活用 学びの基礎診断 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容が分かる生徒90%以上◇ 一人一台端末を活用している生徒90%以上◇ 共通テスト5教科7科目受験率90%以上● 難関国立大・医学科合格者50人以上● 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 大変なこととは承知しているが、「授業の内容が分かる生徒」は100%を目指して頑張っていたいただきたい。 理系志望の中で工学ではなく基礎研究を志す生徒が増えると、将来ノーベル賞受賞者排出が考えられる。 入試制度の多様化への対応をお願いしたい。 授業についていけない生徒のフォローアップ体制の構築 生成A I等の効果的な活用をお願いしたい。 	
思考力・判断力	目標設定力	<ul style="list-style-type: none"> 教科の授業 揺籃、理数探究 進路指導 職業を知るセミナー 大学出張講義 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決や大きな目標達成のために、適切な難度の小・中目標を設定することができる生徒70%以上◎ 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 沼東ゼミへの生徒の満足度はどのくらいでしょうか？「時間確保が大変」とのことでしたが、生徒はどの程度負担を感じているのでしょうか？ 目標の優先順位づけを考える訓練が必要

様式第5号

	課題発見・分析力	志望校設定等 ・部活動 ・学校行事 ・校外活動への参加	・物事を多面的に観察し、その良さと課題の両方を見いだすことができる生徒80%以上◎	B	B	・社会に出てからも必要とされる能力となるので、適切な指導をお願いします。 ・多面的な考えを持つことへの訓練ができていますか
	思考力		・自分の意見を適切な根拠を示しながら、順序だてて説明することができる生徒70%以上◎	A	A	・探究のプレゼンで説明が序論本論 結論の基本構成で作られているか
	表現・発信力		・聞き手を意識して話し方を工夫したり、適切な機器を用いたりして、分かりやすく説明することができる生徒70%以上◎	A	A	・プレゼンテーション能力は 訓練が必要
	創造力		・授業や学校生活の中で、自分の世界や発想の幅が広がっている生徒80%以上◎	B	B	・将来の進路や可能性を考える上で重要なことと思います。多くの選択肢を示してあげられると良い。 ・理系⇄文系の選択機会、自由ができればよい。
				・3年次1学期における第一志望校を受験した生徒60%以上● ・探究や授業成果の校内発表会実施、校外発表会等への参加● ・教科、科学、図書、関係部活、探究・課題研究等入賞●	A	A
業務改善	・DX、外部人材活用	・月別時間外労働時間の前年比減		B	B	・教職員の皆様は大変だと思いますが、健康第一で頑張ってください。 ・生徒、保護者の本校への大きな要求と教員の負荷の大きさのバランスの取り方の解決策は厳しい。

◎1学期末、学年末生徒アンケート ◇生徒対象学校生活アンケート ●データ